



暑中お見舞い申し上げます。

暑さが厳しい大暑(たいしょ)には、スイカがよいそうです。Suica (スイカ:JR東日本のICカード)をお持ちの方は、それを使って涼を求めに行くのもいいですね。

図書館にも、大暑に対処するためのヒントがあります。暑い中でも、職員一同、厚いおもてなしの心でお待ちしております。

参考文献:『すいかごろごろ はじめてのこよみえほん 大暑』
すとう あさえ/ぶん, 北村 裕花/え ほるぷ出版 他



本の処方箋

～さまざまなお悩みに司書がおすすめの本をご紹介します～

症状…猛暑はもうしょうがない。
乗り切るためにイチオシの本を教えてください。

処方箋1:『世界のカレー図鑑』のスパイスたっぷりの料理を作れば熱い夏を乗り切れそう。(田)

処方箋2:一年中おいしいけどやっぱり夏に食べるのが一番だよね。
『アイスクリームだいすき!』。(宮)

処方箋3:『南から来た男』は、英米ホラーの傑作11編が収録されています。ゾックとして涼んでください。(安)

処方箋4:地球沸騰化、到来!!『熱中症からいのちを守る』方法を知って、この夏を安全に楽しくお過ごしください。(須)

※『～』は本のタイトルです。和白図書館にありますよ。

各駅停車～「海の中道の今・昔」駅～

今年4月に志賀島に渡る橋とその前後約1.2kmの県道の電線を地中に埋める無電柱化工事が完了したとのことです。

電柱が一掃されたことで景観が一層良くなり、ドライブやサイクリングなどにも最適、快適でしょう♪

さて、現在は市民のスポーツ施設などに利用されている「雁の巣レクリエーションセンター」は、昔は日本最大級の別の施設でした。その施設とは、次のうちどれでしょう? ※答えは裏面にあります。

①植物園

②動物園

③飛行場

参考文献:『福岡のトリセツ 地図で読み解く初耳秘話』昭文社
『東区またまた再発見』福岡市東区役所総務部企画課

和白図書館イベント案内

《おはなし会》

毎週土曜日 11:00～

場所:和白図書館おはなしのへや

7月	5・12・19・26日
8月	2・9・16・23日
9月	6・13・20・27日
10月	4・11・18・25日

※8月30日は工作教室です。

《あかちゃんおはなし会》

毎月1回 木曜日 11:00～

場所:コミセンわじろ2階 和室

定員:8組 申し込み不要

対象:0, 1, 2歳のあかちゃんと保護者

7月10日 8月7日

9月11日 10月9日

ふうでい

金印を使って封泥を体験しよう

～博物館おでかけワークショップ～

8月20日(水)10時～11時10分
(15分前に開場)

場所:コミセンわじろ2階第1会議室

対象:小学5年生以上

定員:15人(先着順)

参加費:無料

申込:7月19日(土)10時より受付

お電話や和白図書館のカウンターで受け付けます。

1784年に、志賀島で
発見された国宝の金印



金印が作られた頃、大切な文書は粘土で封をし、そこに印を押していました。金印のレプリカと粘土を使って封泥を体験してみませんか?



世界で何が起きているのか

『船上の助産師』

小島 穂奈／著 ほんの木 2024.9
ISBN:4-7752-0149-7

一般

毎年、大勢の貧困や暴力に苦しむ人達が、生きるため、家族のために、リビアから粗末なボートに乗って、死のルートと呼ばれる地中海を越えようとしています。著者は、助産師として、10年以上、アフリカ、アジア、中東、ウクライナなどの紛争地で働いており、特に地中海の捜索救助船の活動に携わっています。

揺れる船の上での出産、産後のケアもままならない環境、不法移民に反対する政治的な圧力との戦い、同僚や救助した人達の国籍や民族、宗教の違い。それらを乗り越えて救助しても、その後の生活は暗澹たるものです。何が正しいのか葛藤しながらも、自分の技術や経験が必要とされていると感じる場所で働きたいという著者の姿に感銘を受けます。(安)

横溝正史のルーツがここに！

『赤屋敷殺人事件』

A.A.ミルン／著 横溝 正史／訳 論創社
2022.12 ISBN:4-8460-2157-3

小説

A・A・ミルンといえば、イギリスの児童小説『くまのプーさん』の原作者として有名ですが、実はそれ以前に推理小説を書いていたことはあまり知られていません。この作品を翻訳した横溝正史は、若い頃にこの作品と出会い、学校の講義もそっちのけでむさぼり読んだそうです。曰く、「そこにはスリルもサスペンスもアクションもなかった。その代わり、一字一句も読み落とせない緊密そのものの構成の面白さがあった」と絶賛しています。

それだけの影響力を横溝正史に与えた作品。だからでしょうか、この中に出てくる素人探偵アントニーは、後の彼の作品に登場する探偵「金田一耕助」のモデルになったといわれています。1921年発表の推理小説です。(須)

アートって自分を知るヒントだった！

『自分につながるアート 美しいってなぜ感じるのかな？』

池上 英洋／著 筑摩書房 2024.12
ISBN:4-480-25158-9

YA

本書は、「美術」や「美しさ」とは何かを問い直し、アートを通じて人間らしさを考える一冊です。美術の授業が苦手だった人や、アートは難しいと感じている人に向けて、わかりやすく解説されています。

著者は、日常生活の中で「美しい」と感じる基準がどのように形成され、なぜ人間だけがアートを必要とするのかを探ります。例えば、一冊のノートやペン、一着のシャツを選ぶ際にも、私たちは「これが自分にとって美しい」と思える基準に照らして手にしています。これらの行動がアートは自身の心と深くつながっていて、感じる事が大切だと教えてくれます。読み終えたときには自分の中にある美しさの感覚に気づき、ぐっと身近に感じられるはずです。(田)

あなたの自由研究が大発見になるかも！？

『富士山のまりも 夏休み自由研究50年後の大発見』

亀田 良成／文 斉藤 俊行／絵 福音館書店
2021.3 ISBN:4-8340-8609-6

児童

作者の亀田さんは小学生の時に富士山のふもとにある山中湖でまりもを見つけて、家に持って帰りました。5年生の夏休みに毎日まりもの観察をして自由研究として提出しました。それが昭和33年のことです。

亀田さんが大人になり実家を離れてからも、ご家族がまりもの世話を続けていました。2011年の春、亀田さんはインターネットで山中湖のまりもに関する論文を見つけます。それによると山中湖のまりもは絶滅しかけていたとありました。わが家のまりもは貴重な生き残り？50年以上前の亀田さんの自由研究が大発見につながります。夏休み、あなたも何か研究してみませんか？(宮)

館長のひとりごと



旅先でのこと。町屋風の建物の前で人力車の引手がスマホに向かって何やら説明、続いて流れる翻訳を聞いた外国人観光客が頷いていた。

生成AIの翻訳機能は、外国語を学ぶ意欲を低下させると個人的に敵視していたが、インバウンド対応には不可欠のようだ。

ジャン・コクトーの短詩「私の耳は貝のから 海の響をなつかしむ」を翻訳した堀口大學は、原語のaimer(愛する)を「なつかしむ」と訳した。育んでくれた海への郷愁が感じられる名訳だと思う。

機械的な言葉の置き換えだけでは味気ない。学びにおいては、拙くても血の通った言葉を、何とか自分の頭で考えていきたい。(小)

各駅停車～「海の中道の今・昔」駅～

答え ③飛行場



1936年に開場し、朝鮮、台湾、東南アジアなどへの空路も開かれ、戦前期には日本最大級の国際空港になりました。戦後は米軍に接收され、1977年に施設全体が返還されました。しかし、乗り入れ機体の大型化により、雁の巣の飛行場では対応できなくなったため、飛行場は期待(機体)とともに板付に移りました。

福岡市和白図書館

〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目22番27号

JR福工大前駅内 コミセンわじろ4F

TEL 092-608-8490

開館時間 10:00 ～ 18:00

*本の検索・ご予約*福岡市総合図書館ホームページ
(<https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>)